

Vol.1

第1回、第2回 学校運営協議会

学校運営協議会の内容を報告します。

発行・文責：

糸島市立前原小学校 学校運営協議会委員

令和六年
十月



第1回学校運営協議会（令和6年6月4日開催）

1 学校運営構想について説明

私たち学校運営協議委員は、毎年度末に学校の運営に対しての評価を行っています。その『学校関係者評価』に基づいた令和6年度の学校の取組について、石硯校長より説明が行われました。

前原小学校の特徴の一つとして地域との深い連携が挙げられますが、その一つが生きた米づくり学習です。糸島の多くの小学校で米づくり学習ができなくなっている中、地域の協力により実現できていることは子供達にとって、とても幸せなことだと感じました。また、地域最大の祭りの「ぬくもり文化祭」に対しても、コミュニティ・スクールの取り組みの強化として、学校・PTA・地域がより一層連携して盛り上げていこうという意欲が感じられ、委員としても文化祭へのモチベーションが高まりました。

一方で、学校の深刻な課題として教職員の若年化が挙げられました。そのため、経験差によらない生徒指導の初期対応の強化など、工夫されている点が多いことは高く評価できました。1年生に見られる小学校ギャップなど、地域として感じる懸念材料もあるため、小学校を支えるべく PTA を中心としてサポートを行えるよう、家庭や地域でも子どもの指導力を高め、見守り活動をより一層強化する必要があると考えます。



2 第1回まごころ・えがお・がんばる会議

第1回会議では「ぬくもり文化祭を地域とのつながりの場にするために」をテーマに、6つのグループに分かれ先生方と学校運営協議委員とで語り合いました。

各グループでメンバーを入れ替えて2回の意見交換を行いました。多くの先生方がコロナ禍以前のぬくもり文化祭を未経験であるため、各学年での出店案が披露されると同時に、過去開催時の様子と運営方法に対する質問がたくさん出されていました。初めて文化祭に臨むとは思えないほど、いろいろな案を一生懸命に考えてくださっている真摯な姿に頼もしさを覚えました。

○児童が発信すること、地域・保護者の力を借りたいこと

「子ども達が学習したことをぬくもり文化祭で生かせないか？」をテーマに、各学年での学習活動の発表がなされました。

★1年生:冬の遊び ★2年生:地域探検(校外学習) ★3年生:花いっぱい人権学習

★4年生:SDGs(自然環境保全) ★5年生:米づくり学習 ★6年生:夢かなえプロジェクト

既に計画が進んでいるものとしては、5年生は米づくりの集大成としての餅つきをし、餅まきで振る舞うこと。6年生はお客様としてではなく子どもがホストとして地域を楽しませる活動にしていこう。その他の学年でも、先生方からの発表に対し、委員からはその情報に紐づくアイデアや経験談を提供しつつ、活発な意見交換が行われました。

3 前原小学校創立150周年に向けて

今年、前原小学校は150周年を迎えます。学校が取り組む事業の計画について石硯校長より発表がありました。12月14日に行われるセレモニー事業を主軸に、記念誌発行やモニュメント作成、既に正門に掲揚されている横断幕作成など、関連した沢山の事業も計画されています。地域としても資金面での支援を行い、盛大にお祝いをしていきたい考えです。



第2回学校運営協議会(令和6年9月26日開催)

学習参観と前期の学校の取り組みについての報告

学校運営協議会委員各自で、自由に授業の様子を見て回りました。参観では、子ども達が真剣に授業に向かう姿と、コの字に配置された座席のおかげで積極的にコミュニケーションが取られている様子に感心し、特に算数については将来にわたって役に立つ計算のやり方をしっかりと学習していることに安心しました。

前期の評価としては、児童や保護者へのアンケートの結果として子ども達の自己肯定感が高まってきていると感じましたが、中にはテレビゲームの1日当たりのプレイ時間が3時間を超える子どもがいたり、学力が二極分化の傾向にあったりと、懸念される項目もありました。この課題については、協議会委員共通の認識として、家庭での親子コミュニケーションを大事にすることで改善を期待できると感じており、PTAを柱に家庭に働きかけを進めていきたいところです。

学校運営協議会で生み出される学校と地域との会話と繋がりを大事にしつつ、これからも子ども達がより良い環境で生活できるようにたくさんの意見交換をしていきたいと思います。



まごころで学び、がおでふれあい、ねばりづよくがんばる